

自殺者金融（ナレーションつき）

羽黒アキ

令和四年四月三〇日

あらすじ

少し未来のお話。不景気が続き自殺が死亡原因のトップを争う社会。一方医療は発達し、臓器移植は成功率が100%に迫っていた。

そんな時代であるがために、主人公もなた、自殺を図ろうとする。そして、それを止める男。男は主人公にある提案を持ちかけるが……。

登場人物

客 本作の主人公。原作でのキャラ名は「男」。自殺志願者。自殺しようとしたところを呼び止められる。女性の演者さんも可。その場合は口調変更も可。

営業 貸金業者の営業。三つ揃えスーツにソフト帽というクラシカルな出で立ち。

主人公を呼び止め、融資を持ちかける。

N ナレーション。男女不問。

利用規定

<https://null.0am.jp/script.php> を参照。

また、「居ない」とは思いますが――

有償案件、営利活動・宣伝活動の一環に用いられる場合は必ず事前にご相談ください。

作者連絡先

Skype: gioseffo

Discord: ハキ#5530

LINE: ex.parrot

Twitter: @Aki_HAGURO

メール: aki.haguro@gmail.com

だいたい掲載順に気で並べただけ。

1 屋上

N 夕刻、ビルの屋上。男が佇んでいる。年の頃にして20代前半。少しやつれている。男はビルから飛び降りようとしていた。

客 (飛び降りようとしつつ) さあて……。

営業 まあお待ちを。

N そこに居合わせた男が声をかける。3つ揃えのスーツに、ソフト帽、ステッキという古風な出で立ち。年齢は読めない。

客 何だオッサン

営業 当社のビルで何をなさろうと……いや、愚問ぐもんでしたね。

客 わかってんなら良いだろう。迷惑かけるのはこれつきりだからよ。

営業 良くはありません。貴方の屍体しきを撤去するのにいくら掛かると思つてるんですか。まあ、どうせ死ぬ気なら、急がねばならぬ理由も無いでしょう。私で良ければ貴方の話し相手になりたいのですが、どうでしよう?死にたい理由でもお話いただければと。

客 話し相手つたってなあ……。話してどうにかなるものかよ。

営業 それは話してみてからでなければならないではありませんか。

N そう言つて、話しかけた男は、飛び降りようとしていた男の話に耳を傾けた。

間。

営業 なるほど、就職活動に失敗して、それで死のうと?それでいいんですか?本当はやりたい事が在つたんじゃないですか?

客 そりやあ、まあ、な。でも、雇つてくれるところがなきや無意味さ。

営業 では、貴方が事業を興すおこというのはどうでしょう?

客 何言つてんだオッサン。そんな金が在つたらこんな所でこんなことしちゃあいねえよ。金もない、金になるような財産も無いからこうやってんじゃねえか。何をおっしゃる。財産なら立派なものをお持ちじやないですか。

客 ハア?

営業 そのお体ですよ、今貴方がまさにゴミにしようとしていた。

ご存知ですか?今この国での死亡率第1位は何か。そう、自殺です。21世紀初頭まで1位は癌だったそうですが、なにぶん今は不景氣ですからねえ。では第2位はと申しますと、まあ病死の類たぐいなのですが、これが臓器移植によつてかなりの割合の人が助かるそうですよ。

なんともまあ理不尽な世界で御座いましょう！生きたいと思ひながらにお体の具合が悪く死なざるを得ない方もいれば、貴方のように健康な肉体をお持ちでありながら死のうとなさる方もいらっしゃる。いえ、それが悪であるとは申しておりません、貴方様には貴方様のご事情があるのでしょう。ですが、先程申し上げたことを今一度お考えいただきたく御座います。そんなに綺麗なお体をお持ちでありながら、それをゴミクズのように撒き散らすのは如何なものかと。

じやあ何かオッサン、どうせ死ぬなら臓器を寄越せと、そう言いたいわけ？

営業 もちろんタダとは申しません。貴方様のお体を担保に、ご融資いたします。貴方はそれで事業を興せばいい。やりたいことをやればいい。死ぬのは、それが失敗してからでも遅くないでしよう？もちろん、ご融資した分をお返しいただければ、私どもも死ねとは申しません。さあ、どうでしよう？もしご了承頂けるのでしたら、階下かいかにて健康診断などをを行いまして、ご融資可能な金額を提示いたしますが。

N 飛び降りようとしていた男は、半信半疑ながらも軽く頷き、男の案内に従つた。

2 オフィスにて

N その後、ソフト帽の男のオフィスだという場所で、2人が話している。

営業 営業客 あ、ああ……。

営業 あなたの肝臓の1/3と、肺と腎臓を片方ずつ、これを担保に300万円ほどのご融資が可能です。如何ですか？これを資本にやりたいことをなさってみては。

客 そうだな、ひとつやってみるか。

営業 それから重要事項の説明ですが、あなた様のお体の時価額について……

客 いいよ、どうせ死んだ身だ。サインするから契約書貸してくれ。

営業 本当によろしいのですか？

客 いいつていいつて。

営業 左様さようでございますか。でしたらこちらにご署名と、捺印欄なついんらんは押印ぱいんで結構です。

客 あいよ。

営業 それから、事業を興されるということですので、返済期間中、サービスで秘書をおつけいたしましょう。

3 数ヶ月後、同じオフィスにて

N 数ヶ月後、ソフト帽のオフィスに、飛び降りようとしていた男が来ていた。やつれは少し

改善している。

営業 ご融資額の増額ですか。

客 ああ、もう少しというところで赤字だったんだ。なんとかしないと。

営業 左様でございますか。それでしたら片方の眼球と肝臓のもう $1/3$ 、それから胃の半分を担保に、もう300万ということで如何でしょうか。

客 助かるよ。

営業 いえいえ、私共はこれが商売ですので。しかし、返済だけはお忘れなく。

客 そうだな……。

N そう言って2人は別れた。

4 更に数ヶ月後、同じオフィスにて

N 更に数ヶ月後、同じオフィスに同じ2人が座っている。飛び降りようとしていた男は、もう別人のように元気になっていた。

営業 その後如何でしょうか、社長さん。

客 軌道に乗ってきたが今一步というところかな。それで、相談なのだが……

営業 ご融資額の増額ですか。

客 そうなんだ。来年度は黒字に持つていけそうなんだ。たぶん送り込んでくれた秘書から色々聞いてるだろう？

営業 ええ、聞き及んでおります。左様ですか……そうなると、いよいよ心臓を担保にする形になりますが……本当にやろしいのですか？

客 背に腹は代えられないさ。それに、返すアテは十分にあるから怖くもない。

営業 ……本当にやろしいのですね。

5 その翌日、客が興した会社

N 翌日、飛び降りようとしていた男が興した会社に、ソフト帽の男が来ていた。配下に屈強そうな男を従えている。

営業 社長さん。昨日ぶりでございます。

客 どうしたんだ？ 書類に不備でも？

営業 いえ、書類に不備はございません。残念ながら……。

客 何が残念なんだ。

営業 いえ、誠にお氣の毒ではございますが……。

客 何が氣の毒なんだ。

6 営業

昨日、書類の不備もなく無事に貴方様に貸付かしつけが成立いたしました。そして本日午前0時に、超えてしまったのですよ。

客 何が、何を。

営業 元本がんほんと利息が、あなた様のお体の時価額を。

客 なんだと!?

営業 お客様は会社を興されて以来、お酒を飲まれるようになつた。葉巻もやられるようになつた。いけませんでした。どちらもお体全体の時価額を大きく下げてしまいります。

客 体の時価額だと!?

営業 契約時にご説明する重要な事項の一つでござります。お客様のお体全体の時価額というものが計算されておりまして、我々が損をしないよう、時価額を貸付かしつけだか高たかが上回つた時点で、強制的に担保を頂けるようになつてているのです。また、それは予あらかじめ取り決めた担保に限らず、お体全体をいただくことになります。

N ソフト帽の男が指を鳴らすと、屈強そうな男が社長となつていた男を取り囲んだ。

客 どういうことだ、まるでわけがわからない。

営業 客 どうせ元が自殺者ですから、債權さいけん回収のために殺してもかまわないということですな。

客 無茶苦茶むちゃくちやだ!?

営業 それが現代なのでございます。本日午前0時をもちまして、貴方様あなた様は法律上死んだことになつております、同時に肉体の所有権は当社に移つたのです。それでは、参りましょうか。なに、我々も鬼ではございません。きちんと麻酔をかけた上で、眠っている間に終わらせて差し上げます。

客 やめろ……。こんな……希望だけ見せておいて……だつたらあの時死なせておいてくれたほうが……。

営業 それが私共の商売ですので。来世というものがあるかは存じませんが、またのご利用をお待ちしております。

終劇

あとがき

この本は、以前、mixiにて違ったページで公開していた同名小説の「Case: 1」が原作です。登場人物は原作では元からも男性。そのため、口調が男性口調となっております。当時あれでしょうね。自殺願望でもあつたんですかね。当時に限らず私が書いた作品は、主人公が幸せにならないことが多いです。というか、コメディー以外だとたいてい後味の悪い死に方します。私の願望なんでしょうかね。

最後になりましたが、この本に対する誤字脱字、読みにくい、つまらない等の指摘は、左記にお願いします。

Skype: gioseffo

Discord: ハヤ#5530

LINE: ex.parrot

Twitter: @Aki_HAGURO

メール: aki.haguro@gmail.com

だいたい掲載順に順次アッセイを更新していく予定。